

安平町ほほえみづくり事業助成制度の紹介

安平町では、「くらしの笑顔が広がるぬくもりと活力と躍動のまち」づくりを実現するため、団体やグループなどが行う事業や活動を支援する「安平町ほほえみづくり事業助成制度」を行っています。
今年度、この助成制度を活用した2団体の事業内容をご紹介します。

安平・おいわけ盆踊り in い・ぶ・き事業 (安平・おいわけ盆踊り実行委員会)

当事業は、追分地区で長年実施され平成19年をもって終了となった「盆踊り」を復活させ、地域の活性化を目的に開催されました。

地域の町内会や各種団体等との協働作業により新たな地域づくり・イベントづくりとして当事業を開催し、憩いの場・交流の場として、まちなかのにぎわい創出の一助になればと計画された事業です。

当日は、会場に「やぐら」が設営され、仮装した方をはじめ子供から大人まで多くの方々が会場に集まり盆踊りをしながら夏の夜を楽しみました。今後も、事業を継続しながら町内に広がるような地域間交流を進めていくことを目指しています。



(仮装しての参加も)



(子どもから大人まで参加した盆踊り)



(披露された演舞↑と太鼓↓)

第1回逢いランドあびら事業 (逢いランドあびら実行委員会)

この事業は、「郷土にあい 文化にあい 触れあい 出逢いの場所 あびら」をテーマに、和太鼓やよさこい演舞など、音と演舞のコラボレーションによるイベントとして開催されました。

当日は、町内の団体である「追分いぶき太鼓」や「よさこい向日葵会 & 加舞輪奴会」をはじめ、札幌や苫小牧などから多くの団体が参加し、力強い音で見事なパチさばき・軽快な演舞が披露されたほか、会場ではカンロの早食い競争やおたのしみ抽選会などのアトラクションや、フリーマーケット・ビアガーデン・地元で栽培された新鮮な野菜が販売され、多くの方が楽しみました。

また、当事業は、北海道盲導犬協会チャリティ協賛事業としても開催され多くの募金が集まりました。集まったお金は、北海道盲導犬協会に寄付され盲導犬の育成や活動のために使われることになっています。

「ほほえみづくり事業」って何？

町内の団体・グループ等が行う事業や活動を支援するため、町から助成金を交付する制度です。内容は、地域間交流事業を中心としたソフト事業・まちづくりを推進するための町外への先進地研修事業等への助成をしています。

まちづくりの支援制度として誕生した「ほほえみづくり事業助成制度」を多くの団体・グループで活用してください。

この機会に、各種団体・グループ等の総会や役員会でも利用について検討してみたいかですか。

問合せ まちづくり推進課 ☎ 2514